

〔北山抄三拾遺雜抄〕内宴事

内匠寮參入立軟障臺於所々事

〔大饗雜具目錄〕大饗雜具永享四年七月廿五日○中略

一軟障五帖 一同綱三筋歟

〔伊呂波字類抄雜物〕防壁カヘシロ

〔名目抄雜物〕壁代カヘシロ

〔仙源抄賀〕かべしろ 壁代也

〔倭訓栞中編四〕かべしろ 延喜式に壁代と書り、帷をいふ也、又防壁をも訓せり、延曆儀式に、壁代

生絶帷スシと見ゆ、

〔古今要覽稿器財〕かべしろのちやう かべしろ

かべしろのちやうは、延曆廿一年伊勢太神宮儀式帳に見えたれば、それより古くありしものな

るべし、けだし上古の家作は壁を用ゆる處すくなければ、時にのぞみ帳をはりて座を設くるな

り、この帳壁に代用ゆるが故に、かべしろの帳とよびしが、のちにはたゞかべしろとのみよぶこ

とになりたり、その製作は、雅亮装束抄および類聚雜要抄に見えたり、○中略

壁代、生絶御帳太神宮儀式帳按に壁の代に用ゆる帳なれば、壁代の帳とよべるなり、猶垣の代に用ゆる

を垣代といひ、舟の代に用ゆるを舟代といふと同じ、壁代帷江次壁代西宮かべしろ、源氏物語

〔空穂物語國讓下〕おとゞつとめて殿のうちをみ給へば、○中略かべしろは、源氏物語かべしろには、

〔空穂物語藏開中〕三條殿のかくて源中納言殿のうぶやの七日のよになりぬれば、きのかみにお

ほみあるじのことゝもを、おとこ女方おまし所もつらふことつかうまつる、○中略かべしろには、

まろきあやをうちやうまたり、